

総代・総代会

■ 総代会制度について

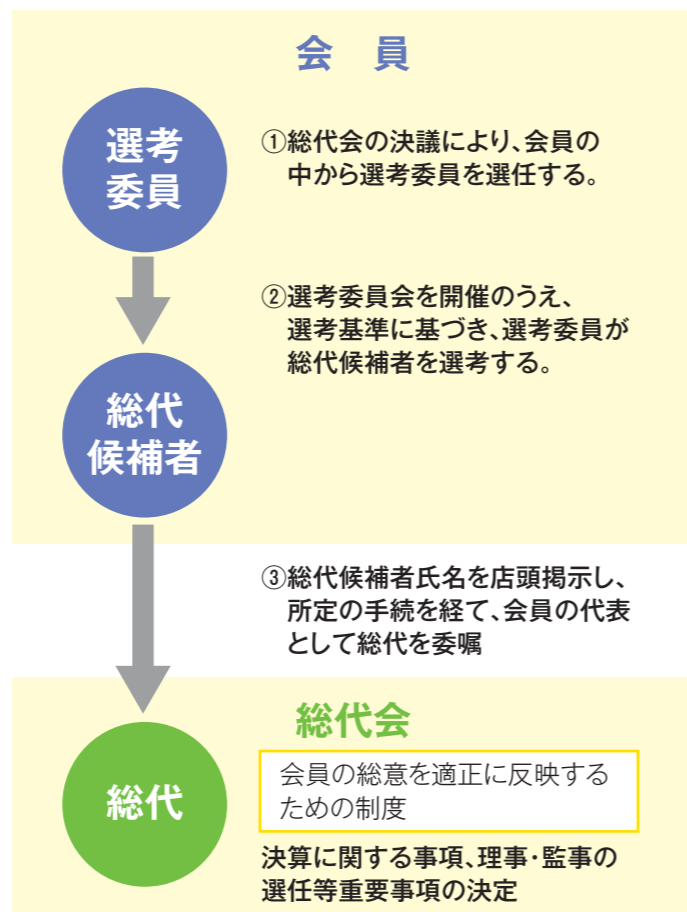
信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、お客さま満足度調査を実施するなど日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



■ 総代とその選任方法

① 総代の任期・定数

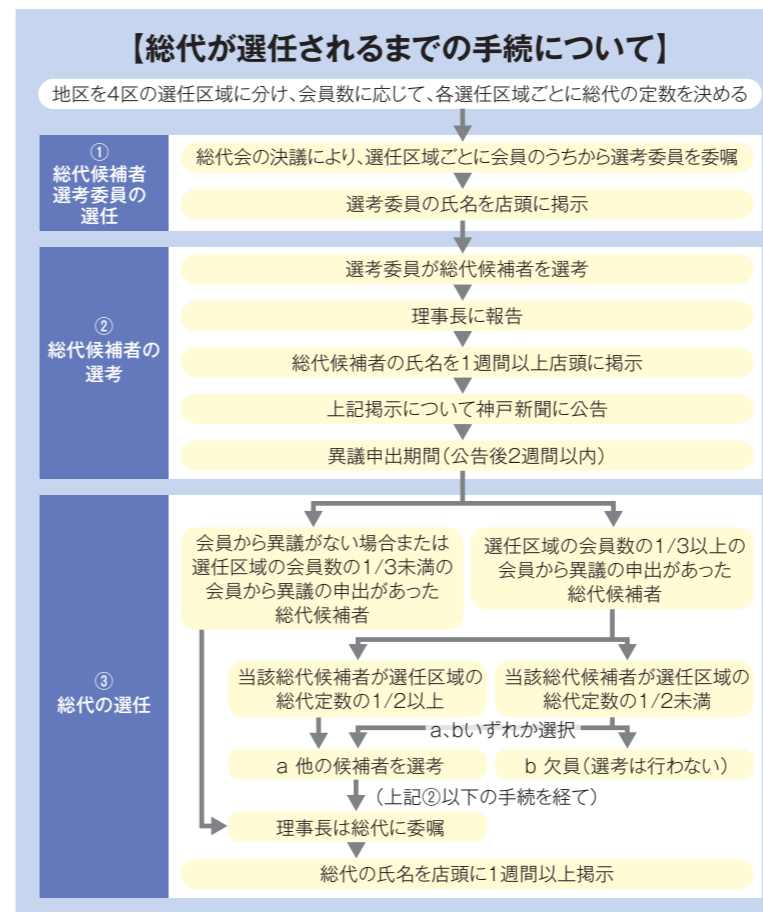
- 総代の任期は2年です。
 - 総代の定数は130人で、会員数に応じて各選任区域ごとに定めています。
- なお、令和2年6月末現在の総代数は130人で、会員数は43,641人です。

② 総代の選任方法

- 総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。
- ① 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
 - ② 総代候補者選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選任する。
 - ③ 上記②により選考された総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

総代候補者選考基準

| | |
|--------|--|
| ① 資格要件 | ● 当金庫の会員であること |
| ② 適格要件 | ● 人格、識見に秀れ、良識をもって正しい判断ができる方 ● 地域における信望が厚く、総代として相応しい方 ● 金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有し、金庫の発展に寄与できる方 ● 80歳未満の方 ● その他総代選考委員会が適格と認めた方 |



■ 第46期通常総代会の決議事項

令和2年6月22日開催の第46期通常総代会において、下記事項の報告の後、次の各議案が付議され、それぞれ原案どおり承認されました。

- ① 報告事項
第46期(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
- ② 決議事項
第1号議案 剰余金処分案承認の件
第2号議案 会員の法定脱退(除名)の件
第3号議案 任期満了に伴う理事8名選任の件
第4号議案 任期満了に伴う監事3名選任の件

■ 総代の氏名 (令和2年6月末現在) ※氏名の後の数字は総代への就任回数

| | |
|--|--|
| 第1地区 姫路市、たつの市、宍粟市、揖保郡及び神崎郡 (53人) | 朝生大吉③ 阿比野剛⑧ 井上明久① 植田誠一郎① 大西健一② 大西雅之② 岡田兼明⑧ 小河 智④ 勝間功雄② 勝間一博② 加藤勝洋⑤ 金城裕満④ 神崎文吾① 間鍋延一③ 喜多村隆博⑧ 木津真人⑤ 栗田 浩① 黒田昭男⑤ 合田 博④ 佐和吉敬⑩ 澤田脩一⑧ 重岡良則⑤ 諏訪芳一⑪ 羅川英毅② 高島真一郎⑩ 立花 充⑦ 田寺宣文① 田中康則⑩ 茶畑真一⑫ 利安宏文① 永井敬裕⑫ 中尾泰三④ 永岡準司⑦ 服部晴明② 濱本博司⑦ 早瀬竜太郎⑩ 平野勝也⑧ 福山一郎⑤ 藤木浩一⑧ 藤橋拓志⑧ 帽田泰輔④ 本田明良⑦ 本田真一郎④ 前田義文⑬ 松原康浩③ 三木典子① 水田裕一郎② 水本雅史⑪ 村角伸一⑨ 矢野善人⑦ 山野博也① 横田昌彦③ 横野修三⑦ |
| 第2地区 赤穂市、相生市、赤穂郡及び佐用郡 (17人) | 天野隆裕⑩ 大木善夫⑪ 小河清之④ 司波尚俊⑧ 重田博雄④ 関 孝行⑩ 竹原秀郎⑧ 谷本 学⑩ 塚崎 純④ 寺田祐三⑩ 西田欣泰③ 前田邦稔① 松井勝彦④ 湊 信秀③ 目木敏彦⑧ 湯淺松樹⑤ 横山弘介⑪ |
| 第3地区 高砂市、加古川市、加西市、小野市及び加古郡 (10人) | 太田久之③ 大西俊二⑦ 栗原直樹① 助永嘉伸④ 仲上常幸⑧ 濱中幹雄⑥ 林 藤雄③ 蓬莱昭治① 圓山善輝⑥ 横山喜幸⑥ |
| 第4地区 明石市、三木市(旧美嚙郡吉川町を除く)、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、宝塚市及び三田市 (50人) | 荒巻道洋② 安藤文久⑤ 石坪浩一⑤ 石原良樹⑥ 上田耕司⑨ 櫻 修滋⑧ 大橋 博⑬ 大道公一① 岡澤和俊⑦ 岡田和代⑧ 奥田一弥⑨ 乙守典厚⑬ 小野純夫⑨ 小野成伍⑨ 春日秀樹⑬ 河野賢三⑨ 木村康次郎⑥ 小口壽一⑥ 鈴木祐一④ 須藤明彦③ 角南忠昭⑭ 高島武郎② 田上育宏① 武井宏之⑤ 竹森莞爾⑧ 塚本哲夫⑩ 植橋悦次② 道清雅彦⑨ 富永彰良⑥ 中内 仁⑦ 中野宏一郎⑤ 橋本和典④ 平岡謙二③ 藤 秀満⑬ 藤井栄蔵⑨ 藤田 勉⑧ 藤田幸男⑬ 藤本雅也⑥ 前田靖文⑬ 丸山恵右⑩ 水垣宏隆⑧ 南 修理⑤ 本谷兼三⑭ 安井和樹⑨ 安田寛造① 山口 元⑥ 尤 昭福⑧ 吉谷博光③ 米田篤史② 脇坂安知⑥ |

以上130人 50音順(敬称略)

■ 総代の属性別構成比

- 職業別/法人役員127人(97.7%)、個人事業主3人(2.3%)
 - 年代別/70代以上48人(36.9%)、60代43人(33.1%)、50代27人(20.8%)、40代12人(9.2%)
 - 業種別/製造業33人(25.4%)、卸・小売業28人(21.5%)、建設業32人(24.6%)、サービス業12人(9.2%)、不動産業8人(6.2%)、その他17人(13.1%)
- ※法人役員の方は属されている法人の業種で分類しています。